

理財部会長報告

会議名 **第3回理財部会
(オープン部会)**

日時 **2023年9月26日(火)
13:30～15:00**

場所 **秋田商工会議所 ホール80**

出席者 **佐野副会頭、 猿田副会頭、
理財部会員18名、他部会員11名 計31名**

懇談 **テーマ 「最近の経済・物価の状況」
ゲスト 日本銀行秋田支店
支店長 片桐大地 氏**



【現状評価】

県内景気は緩やかに回復している

【判断根拠】

- ① **個人消費**がコロナ5類移行後の人流の増加や夏場の観光需要の盛り上がり、7月の大雨被害からの復旧需要により、物価上昇の影響を受けつつも**緩やかに回復**している。
- ② 公共工事請負金額が前年を上回り、**公共投資が緩やかな回復基調**にある。
- ③ **設備投資**が3年連続2桁増、**製造業を中心に増加**している。
- ④ 人口減少が進む本県にとって、人材確保のためには賃上げは必要不可欠であり、人口流出の危機感も浸透しているため、**賃上げ**に関しては**かなり前向き**である。

■国内の物価状況

【現状評価】

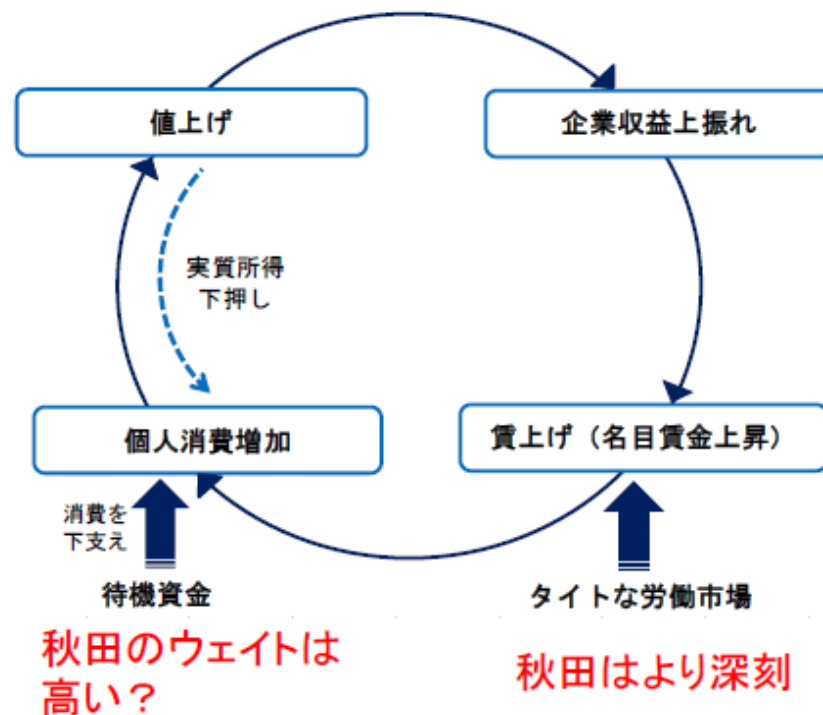
物価高のもとでも個人消費が穏やかな増加を続けるなかで、企業は値上げを進め、それが賃金にも反映されるなど**景気の前向きな循環サイクルが少し回り始めている。**

【判断根拠】

○個人消費

物価上昇の影響を受けつつもコロナの5類移行後のペントアップ需要の顕在化や賃金上昇率の高まりなどにより、**消費者マインドが改善され緩やかに回復している。**

景気循環サイクルの概念図



■国内の物価状況

- 値上げ 従来販売価格の変更に慎重だった業態や企業にも価格転嫁の動きが広がっている。
- 企業収益 価格転嫁の進展などにより、高水準で推移している。設備投資は増加傾向にある。
- 賃上げ 賃上げ率は、平均で3%を超え30年ぶりの高水準。背景には、物価の上昇と人材確保の必要性により、近年にない大幅な引き上げが実現したのではないかと分析。

こうした前向きな循環が今後も維持できそうにも見えるが、個人消費が崩れると企業の価格設定行動も後退する可能性があり、楽観視はできない。

また県内においては、労働市場がタイトな現状を踏まえると、前向きな循環を維持するためには継続的な賃上げが大切になる。